

企業名	六三グループ				
役職・代表者	代表取締役社長 島村信彦				
本社所在地	東京都江東区潮見2丁目4番18号				
電話番号	03-3699-0063	設立年	1930年	従業員数	222名
URL	https://www.mut.co.jp/				

## 該当するSDGsのゴール



## 自社紹介及びSDGs取組の概要

1930年に東京下町の印刷所として創業した私たちは、時代と共に進化を遂げ、今では社員200人を超えるグループ会社として様々な事業を手掛けている。

六三グループはSDGsが生まれるはるか以前から、CSR活動を通じて社会課題の改善に取り組んできた。1970年に印刷業界による公害問題がクローズアップされた際には、ステークホルダーの生活環境を守るために、自らが発起人となり複数の印刷会社による印刷工業団地化を実現。21世紀に入るとグリーンプリンティングの普及や各種リサイクル、震災復興支援、ダイバーシティ、メディア・ユニバーサルデザインなど、SDGsにつながる取り組みを次々と開始。2015年国連でSDGsが採択されてからは、それまでCSR活動として行ってきた取り組みを17のゴールと紐づけ、より広い視野を持って進めることを可能とした。現在では、社員のSDGsへの意識を高めるため、全社員参加の勉強会や外部セミナーを実施。組織と社員が一体となり、サステナブルな社会実現への取り組みを進めている。

## 取組のきっかけ、背景

- きっかけは、印刷産業を担う一員として環境問題への危機感を強く抱いたことだった。まずは環境保全に関する取り組みに着手し、さらに地域貢献、労働安全、情報セキュリティへの取り組みなど、本格的なCSR活動へと発展。これらの活動をベースに、現在ではCSRとSDGsを連動させた取り組みを行っている。

## 取組の進め方

- 利益を上げながら社会の課題に取り組む「戦略的CSR」が、私たちの活動方針となっている。この考え方をもとに、社内のCSR委員会が中心となり、様々な活動を実施。また、各種データを集計し、実施前後の比較や推移を測定。さらに、経営に対してどのような効果をもたらしたかまで分析している。

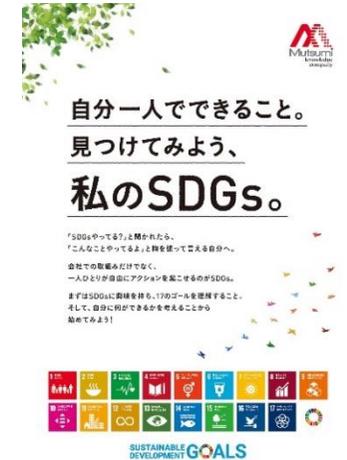
## 具体的な取組、製品・サービス

- 早くから環境配慮型印刷の普及に取り組んでおり、2009年にGP認定工場に指定されると、2016年から現在まで「GPマーク普及大賞」を6年連続で受賞中。全社員対象の環境/GP勉強会も毎月1回必ず行っている。また、ノンVOCインキをはじめとする環境配慮型インキの使用徹底、ノーカーボン紙のリサイクル、オフィスの節電などの活動も行っており、これらの活動が評価され、2014年には印刷産業環境優良工場表彰で経済産業大臣賞を受賞した。



GP工場認定証とGPマーク普及大賞

- 社内に設置されたCSR委員会が中心となり、CSRと連動するかたちで社内でのSDGs啓発を進めている。CSR/SDGsに関する勉強会を毎月開催し、社員の知識と意識を向上。2021年からは社員一人ひとりが自らの目標を掲げる「SDGs社内ポスター」を展開。社員の意識改革を促進している。



SDGs社内ポスター

- 会社周辺地域の清掃、日本赤十字社を招いての献血、AED設置、MUDの推進、全社員参加の普通救命講習、植樹・育樹祭への参加、障がい者の方に活躍の場を提供する市民芸術祭の協賛など、様々な取り組みを通じて地域・社会への貢献活動を行っている。

- ダイバーシティやワークライフバランスといった雇用・労働安全の取り組みにも注力しており、例えば女性活躍推進委員会の発足、出産・育児・介護休暇などの制度整備、外国籍人材の積極的な正社員雇用、ハラスメント窓口の設置、ストレスチェックの実施、コロナ禍におけるリモートワークの推進など、すべての社員が安心して働ける環境を構築・維持することに努めている。

## 取組んだ成果、効果（取組前後の変化）

- 会社が掲げる「戦略的CSR」の考え方が社員一人ひとりに浸透し、CSRやSDGsを事業に取り入れる意識が向上。
- 印刷産業環境優良工場表彰での経済産業大臣賞受賞やGPマーク普及大賞受賞、全印工連CSR認定制度スリースター取得など、社会からの評価も得ている。

## 今後の予定、展望

- 「戦略的CSR」の一環として、今後はさらにSDGsへの取り組みを強化。自社の発展と持続可能な開発を両立させていくことはもちろん、印刷業界のCSR/SDGsをリードする存在になることを目指していく。